

電影「子供たちの王様」(原題：孩子王 ハイズゥワン)

上映時間 106 分

1987 年西安電影製片廠作品

1988 年ユネスコ教育賞 受賞

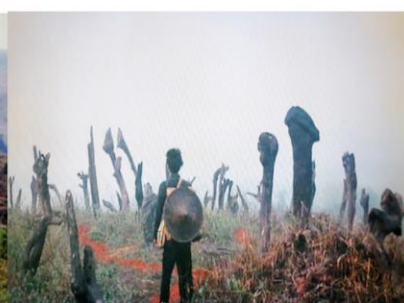
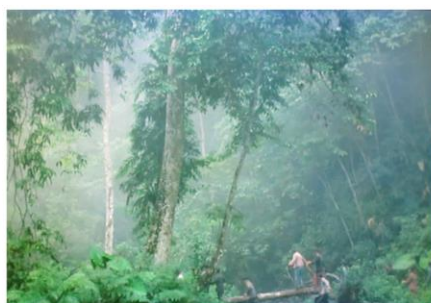
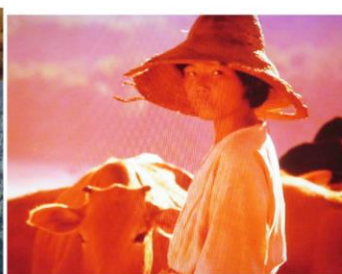
導演・編劇 陳凱歌 (チェン・カイコー) 1952 年北京生まれ。父は映画監督、母はシナリオ編集者。1968 年下放政策で雲南省景洪 (チンホン) のゴム園で働く。その後北京で労働者となるも、1978 年北京電影学院に入学、映画界入り。本作品は「黄色い大地」(広西電影製片廠、1984)、「大閩兵」(1985) に次ぐ第 3 作目。他に「さらば、わが愛／霸王別姫」(1993、カンヌ映画祭パルムドール受賞)、「花の影」(1996)、「始皇帝暗殺」(1999)、「北京バイオリン」(2002)、「花の生涯～梅蘭芳」(2008)、「空海～KU-KAI～美しき王妃の謎」(2018) などの作品がある。青少年時代の自伝「私の紅衛兵時代 ある映画監督の青春」(講談社現代文庫、1990) は本作品を理解するのに役立つかも知れない。

原作：阿城 (アー・チョン) 小説「孩子王」(1985 発表) 1949 年北京生まれ。高校 1 年のとき下放政策により内モンゴ・山西省・雲南省で農村労働に従事し、雲南では陳凱歌と同じ農場だったという。

撮影：顧長衛 (クー・チャンウェイ)

配役：孩子王 (教師)： 謝園 (シェ・ユアン)

王福 (ワン・フー) (できの良い生徒)： 楊学文 (ヤン・シュエウエン)



文化大革命の時期、山の学校。田舎教師と生徒との心の交流を描いています。原作では、主人公の青年は、1976 年 1 月雲南省の山村に下放され生産隊に属して農業に従事していました。10 名ほどの生産隊のなかで唯ひとり高校 1 年までの教育歴があるので、山の中学校で中 3 の生徒に国語を教えることになったのです。「孩子王」というのは、教師の蔑称です。初めのうちはとまどっていた新米の教師が、だんだんと生徒たちと打ち解けあっていくさまは感動を呼びます。貧しい山村にありがちなおぼろ校舎で、生徒に教科書がなく、教師に指導要領もない学級です (どうも 40 人学級らしい。筆記する紙はあるし党の文献はどっさりあるようだが)。物的に貧しいからこそ、単に字を覚え知識を詰め込むという教育とはちがって、人として教師が生徒と心を通わせることができるのだと云っている気がします。

映画のロケ地は雲南省孟臘県 (モンラ) とあります。雲南省でも南方に位置するシーサンパンナ (西双版纳) ・タイ族自治州の最も南のラオス国境に近いところで、亜熱帯の山岳地です。丘の上にわら屋根の小屋が建っている、そこがこの映画の主な舞台です。カメラの視野が動かず、流れてくる音楽もない静寂な空間があり、霧につつまれた幻想的な光景が広がります。そういう単純な映画作りが、かえって新鮮に感じられるのです。